

老人クラブ三大活動

健康

友愛

奉仕

ねんりんおうみ

— 第74号 —

米原市近江老人クラブ連合会発行 電話 0749(52)4393

近江高齢者大会



白寿の笑顔

森川 康夫さん

森川さんは大正4年7月米原の入江村でお生まれになられました。学校を卒業後、大阪の綿布問屋に就職。会社の要請により単身タイへ渡られ、バンコク等東南アジア各地で活躍されました。

終戦後帰国され、42歳で纏維関係の仕事を興され、その後引退まで約20年間働かれたそうです。

趣味も水墨画をはじめ多彩で、特にゲートボールは近畿大会にも出場。また80代には普通列車での日本全国巡りの旅にも挑戦。7年かかりで成し遂げられたとのことです。長寿の秘訣を聞くと特にないですが、自由に暮らしてきたからかなーとのことです。

お話を聞いていて「人生の達人」とは、こんな人のことを言うのかと感じ入った次第です。まずは自身の百年史の完成を目指して、一日一日をお元気に過ごしていただきたいと願っています。

(教養部)

種目 順位	ゲート ボール	グラウンド ゴルフ	ペタンク (男)	ペタンク (女)	公式ワナゲ (男)	公式ワナゲ (女)
1	志賀谷	宇賀野	磯	世 繼	杉 沢	舟 崎
2	上丹生B	朝 日	梅ヶ原	梅ヶ原	堂 谷	寺 倉
3	米原B	箕 浦	大清水	弥 高	本 郷	梓

(体育部)

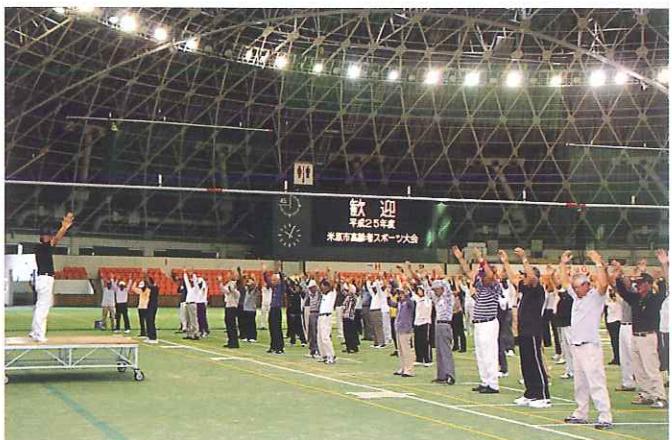
この大会は9月19日(木)長浜ドームで開催され、近江老々連より役員、選手含め120名が参加し、日頃の練習の成果をいかんなく發揮し正々堂々と戦いました。

選手はもちろん、応援も熱が入り、ドーム内が大変盛り上がりました。成績表のように各種競技で健闘され好成績でした。

米原市老々連スポーツ大会



グラウンドゴルフ優勝 宇賀野チーム



準備体操



ペタンク女子優勝 世継チーム



ワナゲ女子優勝 舟崎チーム



今後もこの事業が継続され会の発展、箕浦区の繁栄へとつながることを念じてあります。

去る10月25日米原市老々連「高齢者研修会」で永い間の情報提供という大切な事業が認められ表彰されました。

優良老人クラブの表彰（箕和会）は、平成6年3月から広報誌「箕和会報」を実際に19年に及び長い間にわたり毎月刊行され今年9月までに245号を数えるまでになりました。

優良老人クラブの表彰（箕和会）

単老だより

迷路に進む単老

西田寺 松岡 英美

西田寺円照会の会員は43名で世帯数は27世帯。大きな口の中に入ってしまいそうな可愛い単老です。

活動内容は、神社、墓地清掃や友愛活動など、これまで大きな変化もなく、先輩達から脈々と引き継がれています。

でも悩みは大きな単老に負けず劣らず、一人前に苦しんでいます。それは、新会員の入会が無く、会員の平均年齢が高くなつてきて体力低下を伴い、活動に支障をきたしてきていることです。特にきつい斜面での草刈りなど危険を伴う活動はお手上げに近く、活動の見直しが必要になってしまいます。

体力的に無理になれば、人生経験の豊かな会員ばかりですが、頭を使って知恵を出すし、無理せぬできる活動に切り換え

なければならぬと思います。年寄だからできないのではなく、地域で若い人たちを支え、また支えてもらう地域の支え合いで活動こそ、これからのお手伝いはされています。これからの私達に求められているのではと思われます。



奉仕作業

宇賀野 北村 善吾

の男性の話しぃ。

一つなんや、と年輩者の人から聞かれて、年寄だからできないの言葉。そうかこれが老人クラブの信条の一つ、奉仕なんや、健康な体でなければ、奉仕作業もできないのかと、グラウンドゴルフにも時々参加し楽しんでる。

また奉仕作業に努めて、皆さんに感謝しながら、人生を送りたいと思う。



今月は、まだ、湖岸清掃なんや、私の班は、参加人員も少ないし、そうやけど、することはちゃんとせなあかんしなア、大変ですね。

その話を聞きながら、私の班も来用か、皆んなたのみますよ、と言ひながら、湖岸清掃の日、何でこんなにたくさんゴミが湖岸に流れくるのや、そらそろやろ川から流れて湖岸に流れ着くのやで、これも、奉仕作業の



村のお地蔵さん

舟崎長生会 丁生

長生会の最初の活動は、区民グランピングの清掃奉仕作業から始まり、自然に恵まれた農村公園で桜の満開時に区の社会福祉会による長生会と青空会の会員のボランティアの皆様と桜並木の下で花見会が開催されます。

酒を飲み食い、また、カラオケを歌い、話に花を咲かせ親睦を深め交流の場を広げ、絆づくりの形成をはかり楽しく過ごす一日です。

7月には、猛暑の中、恒例の神社お地蔵さんの葉刈り・草刈の清掃奉仕作業を実施しています。雑談に花が咲き手が留守になる時もありますが、汗をかきながら情報交換しているようです。

このお地蔵さんは、昔話として継承され鎌倉時代の作といわれる立派なお地蔵さんが祀られています。このお地蔵さんは、延命地蔵さんと呼ばれます。昔、ある修行者が「この地蔵

さんは、もっと賑やかなといいのへ出たいとあつしゃつといふ」と言わわれ村の人達が村の中ほどへ移しました。



延命地蔵

近隣との絆

世繼 吉野 和雄

今年は全国的に異常気象のため頻繁にいろいろな災害が発生しているので、これに伴う対応が大変難しくなっています。

先月も台風18号の影響で滋賀県全域に特別警報が初めて発令されました。当地区では幸いにも大きな被害もなく過ごしていましたが、一歩間違えば大被害が発生するかも知れない環境にいることは間違いないと感覚します。

世繼地区では高齢者を把握するため毎月「世繼サロモン」や「お楽しみ会」を開催しております。ボランティアさんを含めて40人から50人の方が参加しています。催しものの合間に御隣同士で話し合い、お互いの健康を喜び合ったり、病気で出席できない人のことなど「家で元気

祖先の心、願いを伝えていくことが私たちの使命であります。お陰様で感謝の気持ちを持つて、地域社会に貢献出来るように心がけたいと思つます。



防災訓練

にしてやあるで」とか「あの人も元氣やで」と教えてもらつたりしています。また、療養中の高齢者の方には、役員全員で分担して訪問や声掛けし生活状況を確認しています。老人会は今から世繼区の自主防災組織の避難誘導班として活動することになりました。

今後も異常気象による驚異的な現象はいつ発生するかわからぬので、緊急誘導班として避難経路や誘導方法などをさらに具体的に示し、緊急時に対応できるようにしていきたいと思います。

菊花展

いきいき活動



近江菊栄会 森 英雄

はじめまして菊栄会の森です。私たち会員21名で菊つくりに励んでいます。

一番のメインは「近江菊花展」に出品し、多くのお客様に喜んでいただいくことです。今回で第41回目です。「今年もやりませ」展示会は(大菊3本仕立)(ダルマ)(福助1本仕立)(盆栽)(自由花)(切花)(嵯峨菊)など約130点以上を近江公民館会場にて開催しています。期間は11月3日(日)から15日(金)までの約2週間展示します。是非会場に足を運んでくださいませ。



「近江菊花展」は、古典ギクの仲間である「嵯峨ギク」「伊勢ギク」「肥後ギク」の7・5・3仕立てが各地で人気者になっています。

「根氣」「やる気」がモチベーションの向上につながります。最近では「イノベーション」の向上を図りその時代に合った「古典ギク」の仲間である「嵯峨ギク」「伊勢ギク」「肥後ギク」の7・5・3仕立てが各地で人気者になっています。

会員の親睦を図るために会員1人1人に配布して確認しながら四季の計画を実施しています。私たち一同は、先輩の指導を「真摯に受け止めて自由闊達な」考え方を「切磋琢磨」の中でモチベーションを高め進化するように今後も「邁進」してまいります。最後になりましたが「新会員」の入会を募集していますのでよろしくお願いします。詳しくは老々連事務局まで。



あまんぼうの皮むき

ます。

1人1人に配布して確認しながら四季の計画を実施しています。私たち一同は、先輩の指導を「真摯に受け止めて自由闊達な」考え方を「切磋琢磨」の中でモチベーションを高め進化するように今後も「邁進」してまいります。最後になりましたが「新会員」の入会を募集していますのでよろしくお願いします。詳しくは老々連事務局まで。

あまんぼうの由来

日光寺 M・O

今から160年ほど前の江戸時代後期には、「日光寺特産の干柿」として秋の農繁期が終わって田園には「かきのや」が建ち並び、夜なべ仕事でしぶ柿の皮むきをして、出来上がりと米原港から舟積みや駅から汽車で遠くは関東方面まで売りに出かけた話を古老から聞きます。先人たちの逞しい生き方を今に生かそうとして18年前に老壮年層有志で結成されたグループが「サン・ワークス」でガンバッテます。

毎年11月初旬からすべて手作業で約1ヶ月、小屋干し・柿もみ・天日干しなどの工程を行い昔懐かしい味の「あまんぼう」に仕上げています。

癒しのメダカ飼育

新庄 中野 吉彦

もう10年くらい前に近所の人から「メダカを飼つてみない?」と頂いたメダカですが、その後、飼うことに興味を覚えていろいろ資料を見ながら、また、人から聞いて育てているうちに今は飼育鉢などの数があつという間に100個近くになってしましました。

メダカの種類はたくさんいますが、メダカショップで売っている観賞用のものは「ヒメダカ」「青メダカ」「幹之(みゆき)」「楊貴妃メダカ」「黄金ダルマ」などを飼つてあり、その数は30種類以上になります。



力にストレスを与えないことが大切で鉢の中で水流を起こさないなどなるべく自然の状態が良いと言えます。普段は、1日2回の餌やり、鉢の水替えが主な内容です。春季から夏季はメダカが増殖する時期で鉢の中が混雑しないように選別し別の鉢に移動するなりしてやる必要があります。特に夏期は暑さ対策のため屋外の鉢に適度な日陰を作つたり、多くの鉢の水を2週間



に1回程度交換をしたりで忙しい日々になります。

このようにメダカを飼つていると毎年稚魚が増えますので興味のある人に持ち帰つてもらつたりしています。

大切なことは、飼つているメダカを川に放流したりするとその環境で育ち増殖し、新しい種類ができたりして自然のバランスを崩すことになるため最後まで面倒を見るこことを心がけたいと考えます。

編集後記

身体を動かすことが脳の刺激になって良い効果があるとお医者さんが言います。また、高齢者には指を動かすことを進めるお医者さんもいます。指を動かすには出来るだけ頻繁にものを書くと良いと言います。そこで高齢者ができることでは日記を書くことが良いのではと聞いてみると毎日起きたことを思い出して書くのが頭の体操になると言います。でもなかなか日記を書くのが続けられる自信がない。それなら新聞のコラムを書き写すのが良いのではと考えます。材料は毎日届く新聞であり内容的にも分かりやすく気に入った内容であれば興味がわき脳を刺激し継続できそうに思います。これから寒い時期に向かうので自分に合った脳の刺激方法を考え実践して元気に過ごしたいと思います。

田頃のメダカの世話は、メダ